

月曜論壇

本社の慰問に對する謝狀一束

出動命令ありたる際は

赤津重美君

元氣で準備

警察署長より川俣警察署長

地元日刊四新聞

を擧げ來十七日午前十時平

居候間御心配を以て故郷の情況を拜見致し厚く御禮申置候、小生は毎日元氣にて猛烈なる教練致

誠に有難く隅から隅まで何

時にも讀破仕り候、雪白き薄

洲の野は妖艶尚晴れす、我

は張良良部下數萬が入り來

等に近く某方面に向つて出

列車にて多數の見送を受け

に榮轉せる松本重吉氏は昨

年八月前八時二十分發上り

十日前後午後六時半

出發尙喜多方署より榮轉の

程と我が大隊は交戦し戰死

賊討伐に行きました、話に

其内我が郷土の磐城新聞を

捷げて見且語し合ひ郷里の

故國の話又は戰爭の

話題間々の實に實が入ります

より早や半ヶ年の星宿を經歸りて瀬戸沿線守備して居時は一日ではありますながら

て戰機今や熟するの候に候りましたが十二月十五、六

其後四平街に居りましたが

令が降る事と思ひます、其

の時は不肖私を忘れ身

御後援を謝し併せて貴社の

願申置候（後略）

上遠野村出身 楢田虎男君

赤津重美君

元氣で準備

上遠野村出身 楢田虎男君

赤津重美君